

は し が き

本県の水産業・漁村を取り巻く環境は、資源状況の悪化や魚価の低迷、漁業就業者の減少・高齢化に加え、燃油価格の高騰など、依然として厳しい状況にあります。

県においては、こうした状況を踏まえ、平成23年3月に新たな「鹿児島県水産業振興基本計画」を策定し、本計画に基づき「おさかな王国かごしま」の実現に向け、水産業の振興と漁村の活性化に取り組んでいます。

当センターにおきましても、同計画に基づき「水産技術の開発と普及」を図るため、漁海況情報の迅速な提供、重要魚種の資源調査、赤潮被害防止対策、藻場造成の技術開発、新たな加工品の開発支援、スジアラ等有用魚介類の種苗生産技術の開発など、多様化する研究ニーズに対応した研究を進めているところです。

平成23年度は、センターに再編・統合してから8年目にあたりますが、この間行ってきたカンパチ種苗量産技術開発試験を踏まえて垂水市に整備された種苗量産施設において、公益財団法人かごしま豊かな海づくり協会が生産したカンパチ種苗が初めて県内養殖業者に供給されました。また、スジアラの種苗生産技術開発試験では、過去最高となる8万3千尾の種苗を生産し、種苗量産化に向けての進展が見られたほか、赤潮被害防止対策として有望な赤潮防除剤が開発されるなどの成果が見られました。

ここに、水産技術開発センターが平成23年度に実施した試験研究等の結果を「事業報告書」として取りまとめましたので、参考にしていただければ幸いです。

今後とも、多様化・高度化するニーズに的確に対応しながら、計画的で効果的な試験研究に取り組むこととしておりますので、皆様の御理解と御協力を願います。

平成25年3月

鹿児島県水産技術開発センター
所長 福留 己樹夫